


聖母教育支援センター ボランティア室便り

2018年4月

ご挨拶

2017年度も聖母教育支援センター・ボランティア室所属の「かめの会」「藤の会」「桜樹会」「ガーデニングボランティアサークル」の皆様とボランティア室スタッフの活躍、そして各所属の皆様のご協力により、教学部の松本三朗先生による「聖書の集い（年9回）」、専門の講師のご指導により料理やクラフトを楽しむ「手作り講座（年5回）」、「かめの会」による点字点訳、「藤の会」による手作り品バザーや紙芝居班の新設、「桜樹会」による講演会・手作り講座・紙芝居・保育・キルト製作、「ガーデニングボランティアサークル」による緑化美化作業、そして全体で取り組んだ、寄付や訪問交流による被災地支援、深草100円商店街でのゲームやバザー、幼小中高にてのバザー、一般の方への本館や記念室見学案内、預かり保育など、様々な活動を行うことができました。これらに加え、2018年度は他の学校とも協力し、リサイクル活動にも力を入れたいと考えております。

「聖母の子どもたち」が日々学んでいる奉仕の精神を具現化する行為を我々も見倣い、保護者の皆様の親睦、地域との交流につながりますよう努めてまいります。改めまして「聖母ゆかりの皆様」のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。（聖母教育支援センター 廣岡将人）



法人本館の見学も受け付けています！

平素は聖母教育支援センターの活動にご支援を賜りましてありがとうございます。ご存知のとおり、法人本館は陸軍の第16師団司令部庁舎をそのまま使用しております。日露戦争直後の1908年（明治41年）、戦争で疲弊した陸軍の増強のため急遽建設されたもので、以後終戦まで、軍都伏見の中心として使用されました。聖母女学院は1949年（昭和24年）に払い下げを受け、京都初のカトリックミッションスクール建設に着手しました。それは、まさに「国を守る砦」から「子供を守る砦」への転換でありました。近年、文化庁より有形登録文化財として認めて戴き、国民の文化財として大切に維持管理していかねばならない責任を感じています。現在、年間500人以上の方々が見学に訪れ、その案内を聖母教育支援センター・ボランティア室のスタッフにお世話になっています。聖母らしいおもてなしに「とても親切丁寧な、温かいご案内をして戴きました。」とお礼のお手紙を頂戴することもあります。有難いことです。皆様もお知り合いの方をお誘いのうえ、是非、本館の見学にお越しくください。見学は平日のみで事前予約が必要です。お申し込みは学校ホームページをご覧ください。ご来校をお待ちしています。

（学校法人聖母女学院 理事長 赤野孝一）





第7回南三陸町支援体験ツアー

2017年7月24日～7月26日

2011年3月11日の東日本大震災直後から続けてまいりました「南三陸町支援体験ツアー」も今回が7回目となり、今年は7月下旬、参加希望された聖母ゆかりの皆様と「改めて感じよう」を心がけ、全て自費参加にて、石巻、気仙沼、南三陸町、女川町に行ってまいりました。

初参加の方が語られた、「ここまで浸水するのか、逆流するのか」「ここでも安全ではないのか」「復興にかかる法的手続きはここまで複雑煩雑なのか」「自然相手の試行錯誤がまだ続いているのか」「震災はもちろんのこと、復興とは住民の街をここまで変えてしまうのか」「人が亡くなられたことにより、残された方々にはこのような影響があるのか」など、訪問回数を重ねるごとに感じる心が弱まってしまった私を反省させる言葉が数多くありました。涙ながらに被災地を案内してくださる「語り部」の方の姿を見てスタッフが漏らした、「語り部の方も、ここまで自分の気持ちを、当時の現状を、さらけ出して言えるようになるまで何年もかかったのだな」との言葉も忘れられません。

また、バザーの販売品などを仕入れさせていただいている、「かめ七呉服店」「Yes工房」「乃善蒲鉾」さんとの交流において、地元へ戻れない辛さ、期限が迫る公的支援の打ち切りへの不安、知恵を振り絞らなければ生き残れない現状など、復興のご苦勞を改めて感じました。皆さんが作られたものを定期的に購入にすることで、少しでもお役にたてればと感じています。

復興活動グループ「ひころの里」「ビーンズクラブ」などとの交流においては、地元PRや農業の知識とノウハウを学びながら、お互い充実した時間を笑顔で過ごせました。2回目の訪問となる気仙沼の児童養護施設の園長様との信頼関係が築かれつつあることもありがたく思っています。

復興住宅、復興団地、大きな船が並んだ気仙沼漁港、賑やかさを取り戻しつつある石巻市、仮設ではなくなった南三陸町「さんさん商店街」の立派な建物、女川町の新しい観光商業施設など、嬉しい成長もたくさんあります。願わくは、この「器」の復興発展に伴って、またそれ以上に、「中身である人々の生活」が幸せと感ぜられるものに向かわれますよう、皆様と心より祈りたいと思います。

被災地の皆様と交流ができ、購入ができ、寄付をお渡しできるのも、聖母の子どもたち、保護者の皆様、参加の皆様、ボランティアグループの皆様、つまり学校法人聖母女学院関係者皆様のおかげです。この場をお借りして心より御礼申し上げます。ありがとうございます。これからもどうぞよろしく願いいたします。

(聖母教育支援センター 廣岡将人)



桜樹会

香里キャンパス

桜樹会では、大型紙芝居の制作と共に上演や貸出しもしています。紙芝居制作では、昨年度2作品を仕上げる事ができました。作品の選定から下絵描き色付けと、一作品に3～4ヶ月かかります。元美術教諭の國澤先生のご指導の下、楽しく作業をしています。

上演は、小学校で月に2回行っている他に、大阪聖母保育園や依頼を受けて地域の行事などにも参加しました。

特別養護老人ホームの「寝屋川十字の園」では、月に一度第4月曜日に紙芝居をしたり、なつかしい童謡や歌謡曲を一緒に歌ったりの訪問活動も続けております。

大阪聖母保育園内支援センターにて、毎週火曜日のなかよし広場のお手伝いやお母さん方のイベント参加時の預かり保育、またヌヴェール学院小学校参観時や文化教養部主催の講座参加時のご兄弟の預かり保育も致しました。今年度は、小学校の参観日に8回、文化教養部講座で1回、保育園では55回保育の活動を行いました。

文化祭でも可愛いアクセサリや装飾品などの手芸作品をたくさん作って、バザーに出品しました。この他子ども向けの小物の手作り体験を行っています。毎回楽しみにしてくれて二つ作る子どもさんもいます。

昨年、初の試みとして、会員が先生となって保護者向けの講演と手芸のイベントを企画しました。講演は6月に廣岡将人先生のお話と、10月にアンガーマネジメントのワークショップを行いました。手芸は、7月に「スエード調のタッセルチャーム作り」、11月に「松ぼっくりのオーナメント作り」、2月に「ファブリック・デコのウェットティッシュボックスケース作り」を行いました。参加者の方々から次回もまた来たいとお声をいただきました。今年度も同様の企画を考えたいと思っています。

※学校ボランティア 小学校参観時の保育

共遊時間 大型紙芝居 読み聞かせ

隔週火曜日 10時半～10時52分 小学校図書室

※施設訪問

特別養護老人ホーム「寝屋川十字の園」

毎月第4月曜日 10時15分～11時15分

※大阪聖母保育園

仲よし広場（地域の子ども対象の集まり）

保育のお手伝い 毎週火曜日 10時～11時30分

※紙芝居制作

國澤先生ご指導の下で製作

隔週火曜日 10時～14時 聖母教育支援センター1階

※キルト製作

エイズ孤児にパッチワークのおくるみを送る活動



かめの会

藤森キャンパス

かめの会は、点訳の勉強をしながら、主に大阪にある点訳絵本図書館「ふれあい文庫」に依頼された市販の絵本の点訳をしています。絵本の文章を透明なビニールシートに点訳して絵本に貼り、絵の形も手で触って分かるようにビニールシートで形を取って貼り、目の不自由なお母さんが子どもたちと絵本が楽しめるような点訳絵本を作っています。1年間に10冊ほどの点訳絵本を仕上げました。

点訳絵本図書館「ふれあい文庫」の依頼により絵本を預かり点訳しています。

点字が全く初めての方大歓迎です。

※活動場所

本館2階（赤レンガ2階）211号室にて

※点字学習年間スケジュール

2018年4月20日（金）・5月18日（金）

6月15日（金）7月6日（金）・10月19日（金）・11月16日（金）12月7日（金）

2019年1月18日（金）・2月15日（金）・3月1日（金）



藤の会

藤森キャンパス

助けを必要としている人たちの為に何か出来ることはないだろうかと集まったメンバーで、現保護者と卒業生の保護者が活動しています。学院内のバザー、大阪聖母保育園、深草100円商店街のバザーに参加し手作り品の販売で得た収益金を今もまだ復興の進んでいない東北の子どもたちの支援と学院の子どもたちのために使わせていただいています。また幼稚園の講演時の預かり保育、昨年度より始めました講師をお迎えしての手作り講座にも参加しています。

藤の会・紙芝居班

2017年度より活動を始めたばかりの新しいボランティアグループです。紙芝居を作ったり、幼稚園等で上演させていただいたりしています。紙芝居班に参加希望の方、ご連絡お待ちいたしております。

※活動日

基本毎月第2・第4金曜日 10時半～正午頃まで

※活動場所

本館2階（赤レンガ2階）211号室

または212号室にて

※活動内容

簡単な手作り小物の製作

幼稚園・小学校・中学校・高等学校バザーでの販売（バザーの収益金は被災地へ支援させていただいております）

深草100円商店街への参加・京都聖母学院幼稚園での講演時のお預かり・講師の方をお迎えしての手作り

講座・大阪聖母保育園でのバザー参加など

◆皆様のご参加をお待ちいたしております！



ガーデニングボランティアサークル

藤森キャンパス

空いているプランターにお花を一杯にするお手伝いが出来ればと始まった応援ボランティア活動も今年で4年目を迎えます。昨年は、ロータリーのサークルの土を入れ替え、芝生の種を撒き、花を植えました。草で一杯だったサークルを見ていた小学生の男の子が、「お花いっぱいにしたら良いのに！」と言ったその一言が私達の背中を押してくれました。幼稚園の子どもたちや小学生、中高生たちが花を見て、素直に綺麗だと思える気持ち、どんなに小さな花にも心を寄せられる気持ちを大切に育てたいと思います。その環境を整えるお手伝いが出来ればと頑張っています。また、昨年は南門におしゃれなプランターを買っていただきました。

子どもたちが関心を持ってくれる事で、またいろいろな立場の方が関わる事で、私達の学院が美しく、綺麗な花と温かい心で満たされれば良いと活動しています。

活動日は毎週金曜日 10時～12時

各々、月に1回～4回、参加できるときに参加して活動しています。

家で育てた苗を持ち寄り、学祭のバザーや講座で得た収入で苗や土を買っています。

空いているプランターにお花を植え、草を抜き、育てることで、私たちの学院が美しく綺麗な花と温かい心で満たされるお手伝いが出来ればと、皆、ガーデニング初心者なので試行錯誤しながら活動しています。

現在、ボランティアの面々も少し高齢化しており、なかなか手が回らないのが現状で、活動する場所も縮小しております。保護者の皆様、関係者の皆様、月に1度でもよいので是非活動にご参加ください！

みんなで一緒にお花増やしませんか？楽しいことしませんか？

持ち物：園芸用手袋・ハサミ・スコップ等

